

早生樹センダンの育林技術

1 背景・目的

今後、主伐再造林を進めていく上で、保育コストの低減等の観点から、成長の優れた早生樹の利用に向けた取り組みを進めることが重要になる。なかでも、20～30年という比較的短い期間で木材としての利用が見込まれるセンダンは、造林樹種の選択肢として注目を集め始めているが、本県における育苗方法や植栽に適した立地、施業体系など不明な点が多い。

このため、県内各地に植栽試験地を設けて調査した。

2 技術のポイント

- (1) 石川県内の4箇所にセンダンの植栽地を設けて調査した結果、標高40m以下で旺盛な成長を示している(表、図1)。
- (2) 成長が旺盛な植栽地では、植栽後2年で樹高2～4m程まで成長が見込めるため、スギやクヌギに比べて下刈り期間は短期間で済む(図2)。

表 植栽地情報

試験地	植栽後年数(年)	標高(m)	土壌
白山市美川	3	10	砂質未熟土
小松市金平	2	40	耕作跡地
穴水町七海	3	160	赤色土
白山市三宮	3	220	耕作跡地

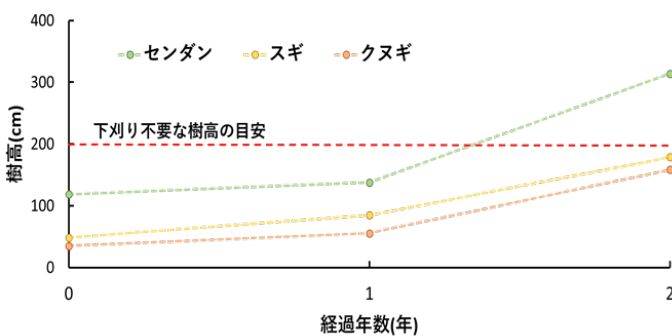


図2 植栽樹種ごとの樹高成長経過 (小松市金平)

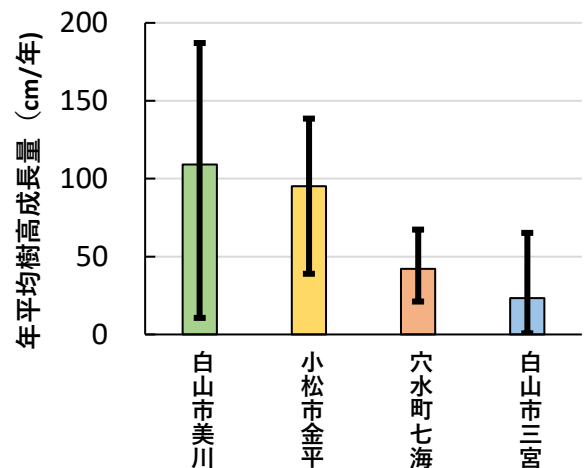


図1 植栽地ごとの樹高成長量
上端は最大値、下端は最小値

3 成果の活用と留意点

- (1) センダンの樹幹を通直にするためには、春期に頂芽以外の側芽を取り除く作業である「芽かき」を実施する必要がある。
- (2) 植栽地によっては、ゴマダラカミキリによる食害が多発しており、対策を検討する必要がある。

問合せ先：森林環境部 TEL 076-272-0673
担当者：向野峻平